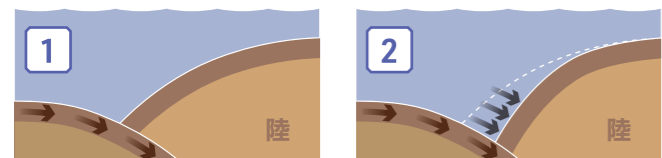
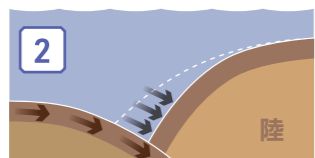


地震のあとは津波に注意!

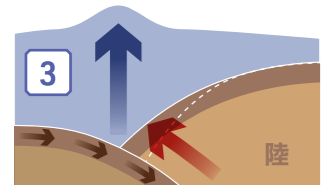
南海トラフを震源とする巨大地震が生じた場合、津波が発生すると想定されています。海底で地震が起こると、大量の海水が一度に大きく持ち上がり、津波となって沿岸までやってきます。1分以上も続く長く大きなゆれを感じたら、津波避難場所もしくは、安全な高い場所に上がる津波避難が必要です。



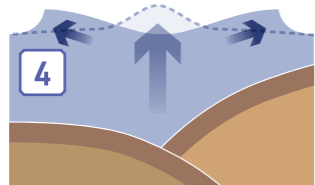
1 海洋プレートが陸の方へ沈み込む。



2 陸のプレートの先端部が引きずり込まれ、ひずみが蓄積する。



3 ひずみが限界に達し、陸側のプレート先端が跳ね上がり、海水全体を強く大量に押し上げる。



4 押し上げられた海水が周辺に広がり津波となって、多方向にいっせいに押し寄せる。

東日本大震災（東北地方太平洋沖地震）

2011年3月11日午後2時46分。三陸沖を震源とするM9.0と発表された東北地方太平洋沖地震は国内観測史上最大の地震となり、震度7を記録しました。太平洋プレートと北アメリカプレートの境界でおこったこの海溝型地震は、震源域が岩手県沖から茨城県沖までのおよそ南北500km、東西200kmと広大で、これまでの想定地震規模を大きく上回る巨大地震でした。地震に伴って発生した大津波は、北海道から関東の太平洋沿岸へ押し寄せ、漁船、港湾施設、さらに住宅地や農地を呑み込み、大きな被害をもたらしました。

死者数・行方不明者数	22,318名
負傷者	6,242名
住家被害（全壊・半壊）	405,737戸

出典/消防庁 令和5年3月1日時点



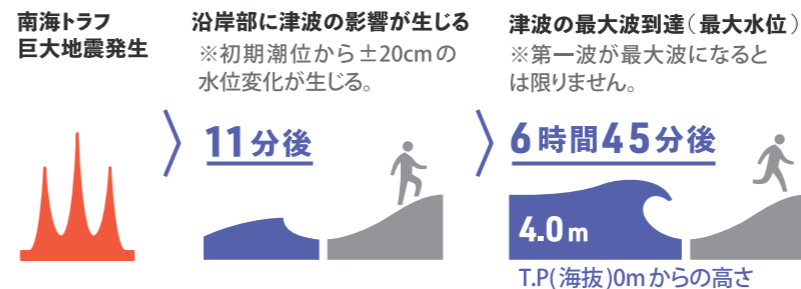
写真提供：(左)岩手県久慈市 (右)岩手県山田町

津波による災害警戒区域について

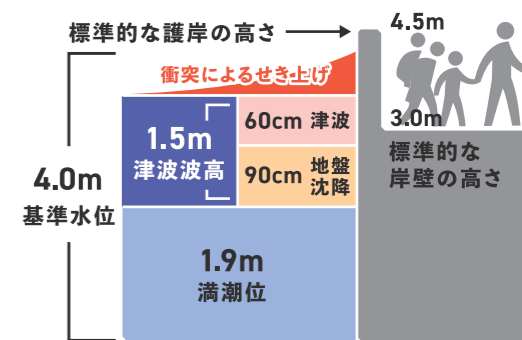
満潮時に南海トラフ巨大地震(M9)が発生し、全ての堤防が決壊した場合、新居浜市における最高津波高は1.5m、満潮時の潮位1.9mとせき上げ高※を加えた最高基準水位は4.0mと想定されています。

※せき上げ高はエリアによって異なりますが、ここでは最大のせき上げ高を加えた水位になります。

沿岸部に津波の影響が出るまでの想定時間



南海トラフ巨大地震に伴う新居浜市の最高基準水位は4.0mの内訳
満潮時1.9m+津波波高1.5m+せき上げ高0.6m
(地盤沈降0.9mを加味)



基準水位とは
津波浸水想定に定める浸水深に、建築物等の衝突によるせき上げ高さを考慮した水位

津波の特徴

津波はいくつかの特徴を持った災害です。津波の特徴を知り、いざというときのために準備をしましょう。

地形による変化

岬の先端やV字型の湾内、入り組んだ海岸は津波のエネルギーが集中し、波が高くなる可能性があります。



河川を遡上する

津波は川を遡り(遡上)、堤防を超えて陸地に津波が溢れる可能性があります。



繰り返り来る

最初の第一波より第二波、第三波のほうが大きくなる可能性があります。



津波の威力

1~2mの津波でも家屋は全壊、流失する可能性があります。(2m以上は、ほとんどが流失します)



漂流物を巻き込む力

津波はガレキ等の漂流物を巻き込んで破壊力を増し、建物やときには防波堤さえも壊すことがあります。



わずかな深さでも注意

20~30cm程度の津波でも立っていらなくなり、足をとられ波にさらわれます。



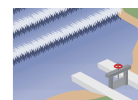
引き潮への注意

引き波の破壊力もすさまじく、陸で引き波にさらわれて沖に流されてしまうこともあります。



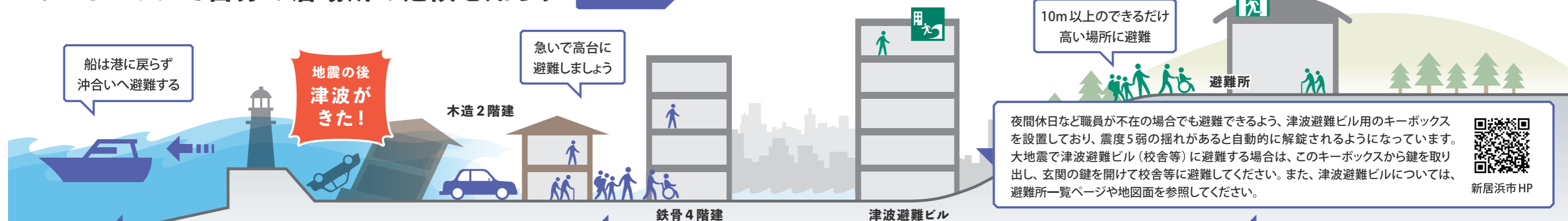
警戒は長期間に

津波は繰り返り襲って来ます。地震後6時間(最大12時間)は注意が必要となります。



ハザードマップで自分の居場所の危険を知ろう

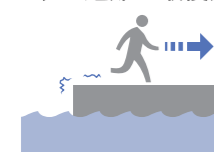
P.10-19



すぐ逃げましょう!

揺れを感じなくても、注意報、警報が発表されたり、市からの避難指示が発令されたらすぐ避難!とにかく走って、戻らない!

小さな揺れでも要注意
まずは避難が最優先



より早く、遠くへ、
高い所へ避難



海岸や河川からできる
だけ遠ざかるように避難



避難の注意

5分間で避難可能な距離

津波は地震発生から数分で到達する可能性があります。どこまで避難できるか確認しましょう。

一般人が1人で避難した場合 **約207m**

乳幼児や高齢者など
歩行速度の遅い同行者と避難した場合 **約138m**

津波てんでんこ

「自分の命は自分の責任で守れ!」

「てんでんこ」は「てんでんばらばらに」の意味で、「人にかまわず必死で逃げる」という三陸地方の教訓。緊急時に災害弱者(子ども・高齢者)を手助けする方法などは、地域であらかじめ話し合っておきましょう。



安全確保

津波警報・注意報が解除されるまでは戻らない!

近くに高台が無い場合は高い頑丈な建物など可能な限り高い所へ避難。

津波避難ビル

